岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　清水川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R3-Bor.No.3	調査位置	広島県福山市鞆町後地（左岸側袖部）	北　緯	34° 22′ 46.9890″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年11月11日～ 令和3年11月18日	東　経	133° 22′ 24.5700″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 44.19m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	10.00m	地盤勾配	16° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM製YSO-1型
				エンジン	ヤンマー(株)製TF120VE型
				ポンプ	YBM製SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	43.69	0.50		礫混り砂	暗茶								調査地において比較的新しい時期の崖錐堆積層。山体の被覆土で未固結である。中砂主体で，全体にφ2～8mmの亜角礫を含む。max φ15mm。植物根を含む。	11/16 無し
1														11/17 1.30
2					淡茶灰								古期崖錐堆積層で混在する花崗岩質の礫は風化して脆い。砂は中砂主体。φ2～4mmの小礫と10～20%程度の細粒分を全体に含む。局所的に粘土優勢箇所あり。GL-3.50以深，含有する礫径が大きいが風化が進行し，ハンマー軽打で崩れる。	
3														11/19 3.40
4				粘土混じり礫混じり砂	～									3.90
5														
6					淡茶褐									
7														
8	36.59	7.60		風化流紋岩	灰褐	w4	h3	D	V	c	DH		DH～CL級の風化流紋岩質凝灰角礫岩。固結度高く，硬質な礫状部を挟む。GL-8.50m付近，φ3～7mmの角礫状を呈す。	
9					～		h2							
10	34.19	10.00			青褐灰	w3		C	IV		CL			
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	50	260	
	1.41			
50以上	2.10	50	130	
	2.23			
49	3.15	49	300	
	3.45			
26	4.15	26	300	
	4.45			
28	5.15	28	300	
	5.45			
20	6.15	20	300	
	6.45			
41	7.15	41	300	
	7.45			
50以上	8.05	50	160	
	8.21			
50以上	9.05	50	130	
	9.18			
50以上	10.00	50	60	
	10.06			

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		11/15	14	66／ケーシング	シングル/ダブル 打込み/打込みシュー	0	50	0	砂0	0
						0	0			
			71		ダブル／メタル	0	60	2	粘3/8	8
		11/16			打込み／打込みシュー	0	0	0	砂0	0
			57		N/ダイヤ	0	90	2	粘3/10	10
		11/17		66	N/ダイヤ					